

# 『獨協大学外国語教育研究所紀要』

## 第 11 号の刊行によせて

外国語教育研究所所長  
浅 岡 千利世

獨協大学外国語教育研究所の研究所紀要も第 11 号を発刊することができました。これも 2011 年度に新しく外国語教育研究所（通称 AMANO 研）として再スタートして以来、ひとえに関係の皆様方のご支援助とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

2022 年度はコロナ禍が完全収束したとは言えないまでも、大学では対面授業や遠隔授業を組み合わせたハイブリッド型授業が増え、キャンパスにも留学生を含む多くの学生が戻ってきた一年でした。本研究所の第 12 回公開講演会「オンライン国際教育の現在と未来：COIL 型教育と外国語学習」（講師：池田佳子氏）は残念ながらオンライン開催となりましたが、関東地方以外の遠隔地から非常に多くの方がご参加下さり、質問や意見が活発に寄せられました。こちらのご講演の内容は本紀要にてご覧いただけます。また、2023 年 2 月に行われた第 12 回高等学校外国語教員との懇話会もオンラインで開催し、高等学校と大学の外国語の授業について、教授法や教育内容の面から充実した意見交換ができました。

紀要に関しましては、外国語教育に関する 4 本の論文、1 本の実践報告および 1 本の研究ノート計 6 点を掲載できる運びとなりました。大学は教育と研究の場であり、研究の成果がよい教育の基礎となります。研究員または本大学の教員それぞれが自由に外国語教育に関する研究成果を発表し、広く研究・教育界にその意義を問う場として紀要は重要な役割を果たしています。

執筆者の皆様をはじめ、査読をいただいた先生方および紀要編集委員会の委員の皆様のご協力によってここに第 11 号を刊行することができますことに心から御礼を申し上げます。また、本紀要をお読み頂く皆様方の忌憚のないご意見を賜りますと幸いです。